

チーム四小 フキ指導案

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
特 別 支 援 教 室 ひ ま わ り

6月5日（木）1時間目 6月6日（金）3・5時間目 ランチルーム

自立活動（小集団）「もじぴったん」

本時のねらい

☆既知の中から当てはまる言葉がないか考える

☆相手の考えた言葉を称賛したり、覚えようとしたりする

指導項目(特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編より)

2-(3)意欲をもって語彙力を身につける 3-(2)他者の意図や感情を理解する

本時のこだわり

- 【伝えたい】【知りたい】と児童が思えるような教材と学習活動！
- ＜めあて＞＜やり方＞＜ルール＞＜マナー＞の明確な掲示物！

段 階	学習活動	指導・支援（○） 評価（☆）
導 入	1. 活動名と＜やりかた＞＜ルール＞＜マナー＞について確認する 『もじぴったん』 ＜ルール＞上から読む・左から読む・濁点や半濁点 小さい文字に変身できる ＜マナー＞次の人を長い時間待たせない 2. めあての確認をする ことばをたくさん考えよう 新しいことばをおぼえよう	○基本的ルールを図で提示して理解できるようにする。 ○待たせない工夫を具体的に提示して見通しをもたせる。 ○めあてを全員で言いながら確認させる。
展 開	3. グループに分かれてカードを7枚受け取る 4. 順番にシートにカードを置いてことばをつくる。【伝えたい】	○低学年や語彙力に課題がある児童には、使える言葉が多い『あ行』のカードを配る。 ☆既知の中から当てはまる言葉がないか考える（行動・発言） ○教師もグループに入り、難しい言葉をつくっていく。 ○低学年が知らないような言葉は教師が書き留めておく。
	5. もじぴったんが終わったら、みんなで新しいことばを確認する。【知りたい】	☆相手の考えた言葉を称賛し、覚えようとする（発言）
ま と め	6. 振り返りを発表する。 7. 『風船バレー』に取り組む。	○担当教員と確認し、苦手な児童でも発表できるようにする。 ○活動に動作が少ないため、運動を取り入れた自立活動を行い、意欲・集中力を持続させる。

板書計画

もじぴったん

やり方

- ① 手持ちのカードは
7まい

ルール

上から ななめ× 左から
↓ ↓ ↓
い か い か
か × か ×

マナー

- ・次の人を長い時間
待たせない

- ・順番までに
2~3か所 考えておく

めあて

- ☆言葉をたくさん
考えよう

② 出ているカードに

- くっつけて「ことば」
をつくる

「」や「」をつけて
ふ ら ん こ は ん た
↓ ↓
ぶ ら ん こ ば ん だ

- ・こだわらない
「長い言葉つくりたい!」
「このカード使いたい!」

☆新しい言葉を

おぼえよう

③ ことばがつかれない

- ときは山から1まい
ひいて次の人

小さい文字にへんしん
よ つ と ち ょ こ
↓ ↓
よ つ と ち ょ こ

- ・長すぎたら 5秒カウント
出せない場合は次の人へ

ふうせん 風船バレー

〈やりかた〉

- ① じゃんばんに
サーブをうつ

ルール

- ・続けて2回打たない
- ・風船はもたない

マナー

- ・やさしい言葉がけ
- ・やさしいサーブ

めあて

- ☆ルールを守ろう
- ☆声をかけよう

- ② 全員打ってから
相手チームに返す

- ・ネットをこえない
- ・ネットをさわらない

ドンマイ!

ナイス!

- ③ 床におちたら
相手のポイント

〇〇さんうって!

- ④ ポイントが多い
チームの勝ち

だいじょうぶ!